

農園便り

1 月号

(133号)

2024/01/01

文責 筒口典康

令和6年、明けましておめでとうございます。



12/31 ミラクルフルーツ

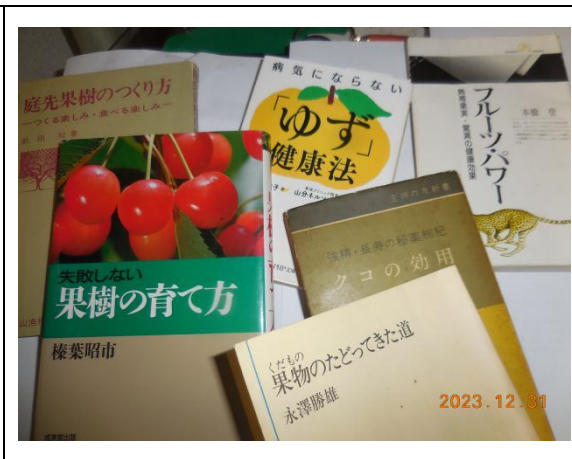


12/31 アーリーと甘夏柑

柑橘の「不知火」「スプリングアーレイ」は、甘くて美味しい。
鉢に植えていたミカン類を狭小の庭に移植しまして、地植え。ほとんど盆栽仕立て状になっている。東京は、既に暖帯域に入る。
甘夏柑はかなり酸っぱい。そこで、ミラクルフルーツの出番になる。
ミラクルフルーツは、不思議な植物で、赤い実をいただいて、舌の上で転がすと・・・、赤い小さな実の粘液で舌の味覚芽が刺激され、酸いものが全て甘く感じる。「梅干し」も「青魚の酢漬」も「柚子酢」も「黒酢」も全て甘くなる。・・・これでは、調子が悪い。メインのお食事を食べてから、ミラクル・ミラクル。総べて、甘く感じる。夏蜜柑、ネーブル等の酢ミカン、未熟キウイ。ミラクルの出番が来る。甘く感じる。



12/31 果物に関する図書



鎌倉に出かけたついでに、逗子の岬の突端にあるフルーツパーラーで、ミラクルフルーツの初体験。オドロキ。その後、新宿の「高野パーラー」で2度いただく。種を持ち帰り蒔きました。とても良く芽が出るのである。

逗子市の一部の中学校で、「技術・家庭科」の栽培学習で鉢に作り、卒業記念として、持ち帰る活動があった。越冬に、12℃ほどの温度が必要です。中々難しい話です。越冬中に低温で、葉を落とさないようにします。

熱帯の植物なので冬の管理が難しい。発泡スチロールの箱に透明ビニール掛けて保温する。ペットボトルに熱湯を入れてタオルを巻いて、湯たんぽ。それを毎日ですから大変だ。

熱帯植物の越冬用の栽培容器は、「オザキフラワーセンター」に用意があります。ガラス張りやビニールのケースである。自動保温シート(床)で越冬させます。

ミラクルは、一頃「糖尿病」の方がどうしても甘いものを食べたい時に、いただいていたと聞きます。「酢」と「ミラクルフルーツ」で、甘未・甘未なのであります。このミラクルフルーツは、「オザキフラワー」で、入手できます。種子から育てるのも面白い。

高校3年、大学1年の時に長野県の「木嶋平」の農家で、厳しい冬を体験する。当時、スキーはまだそんなにはやっていなかったもので、飯山と野沢のスキー場に合わせて2回ほどしか出かけませんでした。スキー教室で学んでいれば、今頃スキーも趣味になっていたであろうに。残念でした。スキー教室などはまだ無かった。スキーよりもスケートに人気があった。

「農学」系の大学に進路を決めるかどうかで、…、まずは寒地の生活体験と言う分けて、木島の知り合いのお宅に、1週間ほど出かけました。信越線の往復切符を買う。

『典康さん。木島に着いたら駅の待合室で待って+!』。『道に出ないでね!』と清水さんが言う。雪が国道に積もり電線が埋没。道沿いに用水路。危険が一杯である。

夜になると、大きな炬燵に大きな「十能」。真っ赤に燃えている炭。パッと火の粉が飛ぶ。お家の方が7人と私。雑魚寝。朝になると、雪が廊下に薄らと積もる。大炬燵は暖かいのである。熱いのである。朝になると、「おじい」と「おばあ」は砵で藁を打つ。リズムカルに。トテコン・トテコン・トン・トン・トン …… ……。

健太郎さんが、『リンゴの講習会があるから、勉強してきたら』。で、出かけた。清水さんは公民館の館長でした。案内いただき、勉強した。

『あなたの説明は、「桃」の話しであろう』。『我々は、「リンゴ」の話しを聞きに来たのだ、何やってんだよ!』と。厳しい。恐ろしい。講師の方が、元山梨県の農業改良普及員で「桃」の専門家であった。木島の方々は、鋭い。

娘さんが床の間に作られたコケ作りの「福寿草」の芽が、膨らんでいる。

12月25日。上石神井、今朝の冷え込みは厳しい。 姪の洋子さんのアパートの屋根に霜が降る。 真っ白に！。「スプリングアーレイ」を送ると、令状が届く。 『有難う』のはがきに、送り手も嬉しい。

農園の抽選が外れましたら、しばらくは、<果物特集>で「農園便り」を続けていきたいと思いますか・・・ネ。 補欠も回ってこなかったらどうしますか・・・。潮時かな・・・。 抽選結果が待ち遠しい。



12/29 最近の畑の様子 白菜の収穫が終わり キャベツ・ブロッコリー 耕地の片付け始まる

80才になった時に自動車免許を返納した。 行動範囲が激減。 安全と安心を選びました。 池袋で起こった事故。 亡くなった家族に対する対応は、許せない。 御本人の不幸も痛々しい。 ご老体には、対応できない車の運転なのである。

免許返納後の不便はいたしかたないが、返納の「特典」をもっと明確にして、強化してほしい。 小さな菜園の運営にも支障が出ました。

運ぶ物の量が多い時に実感させられている。 運送費補助。 重い荷物・・・、肥料や資材を運ぶのに必要な費用を支援するカードであったら助かる。 店舗がサービスするのでなく国が支援する。

「返納」と「特典」。 喜んで安全・安心を選ぶようでありたい。 路線バスが廃線になる過疎の地域のお年寄りを守る施策が欲しい。

それにしても、93歳で亡くなわれた「スイカ名人」の田中さん、最後の最後まで資材を乗用車で運ばれていた。 見事！。 田中さんの畑で学ぶことが沢山ありました。

車を止めたので我家の駐車場は、農業資材の置き場になっている。 完全有機栽培を進めるには、いささかの物置き場が必要になる。

農協やフラワーセンター等で色々買い、自転車で運ぶよりも、全国配送をしているような「通販購入」が安全で、良い。 発注すると玄関に運ばれる。助かる。そこで、サカタ種苗、タキイ種苗、国華園、・・・を利用している。 自転車で運ばなくてすむ。



蔓物の支柱運びが大変だった。洗って、束ねて、持ち帰る。自転車では、中々危ない。小型の四輪車を仕入れて運んだのですが、これが大変疲れる。2往復でクタクタ。とにかく運びました。電動運搬車が欲しい。

知り合いのお店に頼んだのですが、良い返事がいただけなかった。いささか悔しい思いをしました。合計8往復しました。この疲れで、余命が縮まったかと思う。



資材を片付けて、自宅に運ぶ

都市農業に関する資料

生活クラブ生協、「ふれあい」、新年号に、＜持続可能な食と農＞。 ●食と農の未来に向けて日本の農政は何を目指すのか、 ●誰もが気軽に集まれる、「居場所」としての農地を目指して ●聞いてみました！。 それと、朝日新聞12月24日朝刊、一・二面記事。「移住 食の故郷、ささえる生協と生産地を結ぶ」は、都市農業を考えるととても良い記事でありました。地球温暖化防止にも触れた記事もあり、大層参考になりました。機会があれば、ご覧ください。生活クラブ生協の車の運転手に問い合わせますと、手に入ると思います。「都市農業」のありかたについて考える。

T、

T、